

# 日本薬史学会 2012 年会(東京)のご案内

年会長：津谷喜一郎 (東京大学大学院薬学系研究科)

2012.11.11

日本薬史学会 2012 年会を 2012 年 11 月 17 日(土)に東京大学薬学系総合研究棟において開催します。本年会では口頭発表による一般演題 16 題に加え、年会長講演、特別講演、さらに年会後には懇親会も予定しております。特別講演は、台湾・中央研究院近代史研究所の雷祥麟博士による「漢医学研究の研究戦略－1920 年代台湾における杜聰明の医学思想－」(日本語訳)で、台湾からの留学生として日本で初めて博士号を京都大学で得た杜聰明の医学思想や、漢医学研究の方法論としての”54321”と”12345”の戦略などについてお話しいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。詳しい案内は学会 web よりご覧下さい。<http://yakushi.umin.jp> (現在、新しい web design に移行中です)

## 日本薬史学会 2012 年会(東京) プログラム

受付開始 (9:30-)

開会の挨拶 (10:00-10:05) 日本薬史学会 2012 年会会長 津谷喜一郎

口頭発表 1 (10:05-11:05) 座長：三澤美和 (日本薬科大学)

1. 漢方処方における薬用量と調製方の関係－多味剤と大剤について－  
鈴木達彦 (東京理科大学)
2. 石見銀山「いも代官」井戸平左衛門と医師・中嶋見龍および錦織玄秀  
“診察録”について  
成田研一 (島根県薬剤師会江津・邑智支部)
3. 明治時代の局方における「錠」の日本名とラテン名  
五位野政彦 (東京海道病院・薬剤科)
4. 事業構造から見る血漿分画製剤市場の歴史的変遷  
坂上裕一郎、津谷喜一郎 (東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学)

年会長講演 (11:05-12:05) 座長：高田昌彦(日本薬史学会北海道支部長)  
薬効評価の回り灯籠 津谷喜一郎 (東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学)

昼食・休憩 (12:05-13:10)

日本薬史学会理事・評議員合同会議 (12:10-13:00)  
伊藤国際学術研究センター3F 中教室(東大赤門そば)

口頭発表 2 (13:10-14:10) 座長：折原 裕 (東京大学大学院薬学系研究科)

5. 新渡戸稲造と星一の交流

三澤美和(日本薬科大学)

6. 星薬科大学に保存されていた国内初のキナ栽培に関する一次資料

南雲清二(薬史学会会員)

7. 薬物学書に見る消化性潰瘍治療薬の歴史的変遷—明治から現代まで—

大谷聡子、海保房夫(東京理科大学薬学部)

8. 近代西欧医・薬学発祥史 第9報 薬物有効成分の単離と特定

辰野美紀(日本薬史学会)

特別講演 (14:15-15:15)

Chair: Michiho ITO (Grad. School of Pharm.Sciences, Kyoto University)

座長：伊藤美千穂 (京都大学大学院薬学研究科)

Research Strategy of Chinese Medicine: A Case of Dr. Tsungming Tu in the 1920's Taiwan

Sean Hsiang-lin LEI (Institute of Modern History, Academia Sinica, Taiwan)

漢医学研究の研究戦略—1920年代台湾における杜聰明の医学思想—

雷祥麟 (台湾・中央研究院近代史研究所)

口頭発表 3 (15:20-16:20)

座長：西川隆 (東京薬科大学)

9. Drug Information, Clinical Pharmacy, Pharmaceutical Care が日本の薬学に与えた影響

赤木佳寿子 (一橋大学大学院社会学研究科)

10. わが国における医薬品開発 25 年史—キラル医薬品等について—

榊原統子<sup>1)</sup>、吉岡龍藏<sup>2)</sup>、松本和男<sup>3)</sup>

(<sup>1)</sup>一般財団法人日本医薬情報センター、

<sup>2)</sup>田辺三菱製薬(株)プロセス化学研究所、<sup>3)</sup>京都大学化学研究所)

11. 緊急安全性情報の歴史

高橋春男 (一般財団法人日本医薬情報センター)

12. 日向薬(くすり)事始め(その 14)—日向における種痘の歴史—再考(II)

岸信行<sup>1,2)</sup>、高村徳人<sup>1,3)</sup>、宇佐見則行<sup>4)</sup>、○山本郁男<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>九州保健福祉大学QOL研究機構、<sup>2)</sup>宮崎・日向・富高薬局、<sup>3)</sup>九州保健福祉大学薬学部、<sup>4)</sup>奥羽大学薬学部、<sup>5)</sup>前・九州保健福祉大学薬学部)

口頭発表 4 (16:20-17:20)

座長：森本和滋 (医薬品医療機器総合機構)

13. 清代・民国期重慶の薬材流通

石川晶(学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻・博士後期課程)

14. ユダヤ人と薬—西フランク王に仕えたユダヤ人医師をめぐる問題—

田中玉美(名古屋大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員 DC)

15. グラーツ(オーストリア)の薬局と Spital(救貧院)

石田純郎(岡山大学医学部非常勤講師)

16. 1980 年代の米国ワクチン産業：医薬品行政による戦略転換

ジュリア・ヨング(法政大学)

次年度年会長挨拶(17:20)

日本薬史学会 2013 年会会長 高田昌彦

閉会挨拶(17:25)

日本薬史学会 2012 年会会長 津谷喜一郎

懇親会 (17:40-19:40)

伊藤国際学術研究センター1F レストラン「カメラリア」

主催：日本薬史学会

後援：日本医史学会

会場：東京大学薬学系総合研究棟 2F 講堂

東京大学本郷キャンパスの会場マップは次ページにあります。会場へのアクセス、詳しいキャンパスマップなどにつきましては東京大学ホームページをご覧ください。

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index_j.html)

日本薬史学会の web から年会の web に入ってもご覧いただけます。

<http://yakushi.umin.jp>

## 参加申込方法

既に事前申し込みにつきましては締め切らせていただいております。年会当日に会場にて直接お申し込みください。年会終了後には懇親会を開催いたします。こちらも皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### <参加費>

#### 1. 日本薬史学会 2012 年会

会員（当日参加） ￥5,000-

非会員 ￥6,000-

学生 ￥1,000-

#### 2. 懇親会

会員および非会員 ￥5,000-

学生 ￥1,000-

## 口頭発表に関するご案内

発表時間は質疑応答を含め 15 分です。運営・進行のため、時間厳守をお願いいたします。講演ではノートパソコンとプロジェクターを使用します。ノートパソコンはこちらで用意いたしますが、特殊な使用方法をされる方は対応しかねますのでご注意ください。

ご発表の方は、11月15日（金）正午までに、ファイルを email で事務局にお送りください。当日持参の場合は発表の1時間前までに受付にお申しつけください。

☆ご不明なことなどございましたら、以下にお問い合わせください。

日本薬史学会 2012 年会事務局 (事務局長：根岸辰太郎)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学

tel : 03-5841-4828 fax : 03-5841-4829

E-mail : yakushi2012@gmail.com

<東大キャンパスマップ>

